

第45回 構造工学シンポジウム

構造工学論文集 Vol.45 B の刊行に伴う標記シンポジウムを下記により開催します。今回も構造工学論文集 Vol.45 B の掲載論文の発表講演と討議をこのシンポジウムで行います。土木学会からも、同時期に構造工学論文集 Vol.45 A が刊行され、掲載論文の発表講演と討議が同会場の別室で並行開催されます。

4月6日の夜に予定されています恒例の懇親会も建築・土木合同で行うことになりましたので、多数の方のご参加をお願いいたします。

＜掲載討議方式実施のお知らせ＞

構造工学論文集 B (建築) では、刊行の主旨に従って本論文集のさらなる充実と発展をはかるために、1997年度 Vol.43 B より新しい討議方式を実施しております。会場での討議に加えて書面による討議を実施し、その内容を次年度の論文集に掲載いたします。これによって、シンポジウムに参加できない読者にも討議の機会が与えられるとともに、討議内容が公表、記録されることとなります。討議実施要領並びに討議文書様式は、論文集に掲載するほか、シンポジウム会場で配布する予定です。この制度の積極的活用を皆様をお願い申し上げます。

＜共催＞日本学術会議メカニクス、構造研究連絡委員会、構造専門委員会、日本建築学会、土木学会

期日——4月6日(火)～7日(水)

会場——名古屋国際会議場1号館

(名古屋市熱田区熱田西町1-1、TEL 052-683-7711 地下鉄名城線「日比野」または「西高蔵」下車徒歩5分)

参加費——無料 参加自由

構造工学論文集 Vol.45 B の頒布——1999年3月下旬刊行。頒価5,000円。

申込方法：会員番号・氏名・部数・送付先・電話番号を明記し、代金と送料(1部につき500円)を添えて(社)日本建築学会研究事業課 浜田・三枝(〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2057)に現金書留にてお申し込み下さい。なお、シンポジウム会場でも頒布しますが、持込み部数に限りがありますので、できるだけ予約購入ください。

構造工学論文集 Vol.45 A の頒布——(社)土木学会研究事業課(〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地 TEL 03-3355-3559)にお問い合わせください。

●プログラム概要

1. 開会挨拶

日時——4月6日(火) 9:00～9:10

会場——3階131会議室

挨拶——増田陳紀(武蔵工業大学)

2. 特別講演会「活断層を想定した強震動予測」

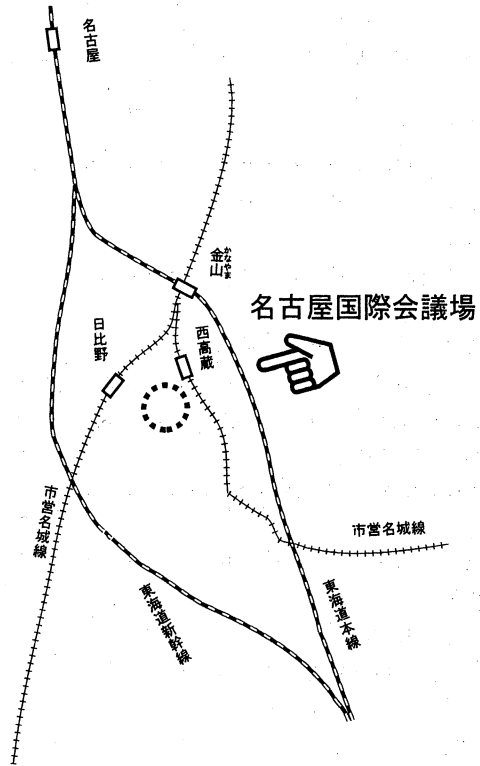
日時——4月6日(火) 15:00～16:00

会場——4階141会議室

講師——入倉孝次郎(京都大学防災研究所)

3. 建築・土木合同パネルディスカッション

「設計多自由度時代の構造美」



日時——4月6日(火) 16:15～18:15

会場——4階141会議室(当日資料実費配布)

司会——石井信行(山梨大学)、大井謙一(東京大学)

パネリスト——春日昭夫(住友建設)、竹内きょう(竹内きょう環境・構造企画)、川口衛(法政大学)、播繁(播設計室)

4. 懇親会

日時——4月6日(火) 18:30～20:00

会場——名古屋国際会議場1号館7階展望レストラン「バステル」

会費——5,000円程度を予定(当日懇親会場受付にてお支払い下さい)

申込方法——はがきまたはFAXにて「構造工学シンポジウム懇親会」と標記し「会員番号、氏名、勤務先・住所」を明記し、3月15日(月)までに所属学会にお申し込みください(先着順受付)。

5. 閉会挨拶

日時——4月7日(水) 17:00～17:10

会場——3階134会議室

挨拶——上谷宏二(京都大学)

●問合せ——(社)日本建築学会事務局 研究事業課 浜田・三枝

〒108-8414 港区芝5-26-20

TEL 03-3456-2057 FAX 03-3456-2058

●建築部門プログラム

■4月6日 4階142会議室

▶9:15～10:30 免震・制振(震) 司会：福和伸夫(名古屋大学)

1 スライド機構を用いた免震装置の開発

○井川望・山田祐司・横山浩明・中山光男

2 建築構造物に対するアクティブ・エアバック式制震システムの開発に関する研究

○安居功二・向井洋一・伊澤清治・山下忠道・橘英三郎・井上豊

3 建屋3次元免震用積層ゴムの開発と特性評価 ○矢花修一・松田昭博

4 偏心ローラー支承の幾何学的非線形性

○大塚将・下田郁夫・川井伸泰・舟山勇司

5 層損傷集中制御制震構造—既存鉄筋コンクリート構造物の耐震改修への適用—

○手塚武仁・神原浩・平島新一

▶10:30～12:00 構造物の応答 司会：田守伸一郎(信州大学)

6 二層立体ラチス壁構造の地震応答性状に関する研究
○小川祥・石川浩一郎

7 原子力発電所建屋のラーメン型構造の非線形地震応答解析
○中村紀吉・中村和行・渡辺修二・本橋啓一・金谷優・三浦宣明・池田竜介

8 セットバック型超高層ビルのねじれコントロールに関する検討
○深田良雄・磯崎浩

9 モード分解に基づくペントハウスを有する建物の地震応答性状の検討
○益野英昌・柴田明德

10 強地震動による低層RC造建物の振動特性の変化
○飛田潤・滝田貢・毛呂真・伊藤敬一

11 構造物の弾塑性地震応答を考慮して地震動をサイン波1波に単純化する方法
○境有紀・南忠夫・壁谷澤寿海

▶13:00~14:00 地盤震動・相互作用 司会：井上範夫（東北大学）

12 震源断層の不均質すべり分布のランダム性を考慮した地震動の統計的評価法
○釜田正毅・源栄正人・柴田明德

13 平面道路と高架道路に隣接するサイトの地盤・建物振動性状の分析
○西阪理永・塩沢伸明・福和伸夫

14 地盤の大歪み領域における地盤・杭・建物連成系の地震挙動評価に関する実験的研究
○田守伸一郎・飯場正紀・北川良和

15 実大モデルによる上部構一杭基礎系の動的特性に関する研究（地震観測結果に基づく解析手法の評価）
○阿世賀宏・新井寿昭・笠原章・花田和史・塩尻弘雄・鈴村順一・仲村成貴

▶14:00~15:00 振動理論他 司会：中島正愛（京都大学）

16 縮退される動力学的固有値問題の解構造と各部減衰性に応じたカギ一行列
○滝澤春男

17 BOTT-DUFFIN 逆行列を用いた建築物の複数固有モード制約型地震応答制御解析
○佐藤健・柴田明德・源栄正人・渋谷純一・半谷裕彦

18 遺伝的アルゴリズムによる免震装置の最適配置計画
○齋藤美・田守伸一郎

19 多層建築物の全体損傷と各層損傷の関係
○加藤洋子・濱本卓司・原麻実子

■4月6日 4階143会議室

▶9:15~10:30 シェル 司会：加藤史郎（豊橋技術科学大学）

20 減衰マトリクスの仮定法が大スパンドームの地震応答性状に与える影響について—レーリ減衰と剛性比例減衰に関する比較・検討—
○嶺岸孝志・加藤史郎・中澤祥二・打越瑞昌

21 形状初期不整を有する放物線アーチの弾塑性座屈荷重
○山下哲郎・加藤史郎

22 下部構造柱の影響を考慮した屋根型単層円筒ラチスシェルの地震応答性状
○喬鋒・松井徹哉・萩原伸幸

23 リング締結型接合部を用いた屋根型単層円筒ラチスシェルの弾塑性座屈性状
○上村充範・松井徹哉・萩原伸幸・鷺見和人

24 ハギア・ソフィア大聖堂を中心とする歴史的建築物のモルタルの色彩と力学特性に関する基礎的研究
○青木孝義・伊藤憲雄・角舎輝典・宮村篤典

▶10:30~12:00 構造力学・解析 司会：滝澤春男（北海道大学）

25 接着中間層のズレを考慮した積層梁の曲げ解析
○和田俊良・上田正生・内山武司

26 多層多スパンはり降伏型鉄骨架構におけるはりの漸増塑性崩壊
○近藤一夫・友永芳男

27 一定軸圧縮・水平加力下における円形鋼管部材の弾塑性解析—局部座屈による断面形状変形実測値に基づく場合—
○野内英治・浅里和茂・倉田光春

28 フラレン構造の既約表現分解による並列有限要素法に関する基礎的考察
○有尾一郎

29 パラメータの不確定性を考慮した非線形不規則振動解析
○趙衍剛・小野徹郎

30 沈み込みを考慮した緊張繫留円筒浮体のサージ応答
○鈴木健亮・氣谷直幸・濱本卓司

▶13:00~14:30 最適化・信頼性 司会：高田毅士（東京大学）

31 鉄骨骨組構造の最小重量設計における局所解の一例

○松本慎也・荒井宏・春日康博・平田裕一・山本憲司・藤井大地・藤谷義信

32 指定崩壊機構非形成確率を制約した鋼構造骨組の最小重量設計
○澤田樹一郎・中村雄治・松尾彰

33 使用期間中の形態変化を考慮した構造物の剛性分布に関する一検討
○護雅史・林康裕

34 剛接骨組系のシステム信頼性解析問題に対するGAの適用
○小沢典史・小浜芳朗・高田豊文・宮村篤典

35 積載物に対する荷重強さモデルの提案およびその検証
○久木章江・石川孝重

36 現行設計法における建築物の構造性能水準
○喜々津仁密・齊藤大樹・高橋郁夫・高田毅士・神田順

■4月7日 4階142会議室

▶9:30~11:00 鉄筋コンクリート構造(1)
司会：市之瀬敏勝（名古屋工業大学）

37 耐震診断における既存RC造建物の耐震性能評価に関する統計的研究
○田村正男・田中淳夫

38 非線形有限要素法を用いたせん断破壊型RC造耐震壁の擬似立体的動的解析
○福島寛二・寺本尚史・井上範夫

39 継続時間の異なる地震動を受ける鉄筋コンクリート柱の振動台実験
○ウンリョウハンヒサ・菅野秀人・井上範夫・堀則男・小川淳二

40 継続時間の異なる入力波を用いたRC造耐震壁の擬似動的実験
○寺本尚史・井上範夫・小川淳二・星道夫

41 水平、上下2方向地震動入力を受けるRC耐震壁骨組の弾塑性地震応答解析
○顧建華・井上範夫・柴田明德

42 動的変動軸力を受ける鉄筋コンクリートせん断曲げ柱の復元力モデルに関する実験的研究
○最相元雄・松山輝男・須田量哉

▶11:00~12:00 鉄筋コンクリート構造(2)

司会：上村智彦（芝浦工業大学）

43 鉄板拘束鉄筋コンクリート柱の耐火性に関する研究
○丹羽博則・長尾覚博・江戸宏彰・吉岡研三・上杉英樹・斎藤光

44 主筋とあばら筋がトラス状に配筋されたRCはりの構造特性に関する実験研究
○森本敏幸・山崎裕一・三井宜之・村上聖

45 梁曲げ降伏するRC内部梁・柱接合部の力学的挙動への補強筋の影響
○上村智彦・武田信治・栃尾誠

46 柱に対する梁の偏心接合による柱のせん断耐力低下に関する検討
○周建東・広沢雅也・近藤龍哉

■4月7日 4階143会議室

▶9:30~10:45 鋼構造 司会：桑村仁（東京大学）

47 鋼材の応力-歪関係に及ぼす温度・歪速度・塑性歪の影響
○見波進・山崎真司

48 2方向せん断力と軸力が比例して変動する繰返し載荷を受ける角形鋼管柱の終局挙動に関する研究
○小川一裕・穂積秀雄・吉川寛文・関口洋平・平野道勝

49 鋼構造建築物の地震時応答とPCカーテンウォール被害
○松本圭介・青山邦男・小野徹郎・河野守

50 剛体回転を伴う非剛床で連結された多構面鉄骨架構の弾塑性地震応答
○李昇宰・大井謙一

51 確率極限解析法を用いた平面骨組構造物のCOF評価法(2)—多層多スパン骨組への適用—
○吉原和宏・小野徹郎・趙衍剛

▶10:45~12:00 鋼構造・木質構造他

司会：小野徹郎（名古屋工業大学）

52 アルミニウム合金板の塑性座屈挙動（十字形および箱形断面短柱）
○井上哲郎・門田仁

53 法令および学会諸規準における鉄骨用語と阪神・淡路大震災における鉄骨被害の関係
○桑村仁・三嶋佳代子

54 回転圧入鋼管杭に関する研究—施工試験及び載荷試験結果と貫入のメカニズム—
○佐伯英一郎・大木仁

55 木造住宅におけるバリアフリー空間確保のための木製合成梁の開発
○井上正文・清水武・沖林聡・田中圭・後藤泰男

56 木製ブロック壁体を有する木質系住宅の開発—風圧力に対する曲げ強度性能—
○井上正文・衛藤善律・清水武・菊池重昭・木下巖